



二気二力

《 校 訓 》 気概 気品 協力 体力

《 学校教育目標 》

しなやかにたくましく、

夢に向かって前進し続ける生徒の育成

瀬戸内市立牛窓中学校
令和5年度学校通信
第5号

令和5年11月13日発行

TEL 0869-34-2048

FAX 0869-34-4698

メールアドレス

ushichuu@city.setouchi.lg.jp

咲陽祭「完全燃唱 輝け牛中の歌」

9月30日(土)に、4年ぶりに有観客で咲陽祭を開催することができました。ご支援いただいたすべての関係者の皆様に感謝申し上げます。展示の部と音楽の部の2本立てで開催し、展示の部は本館玄関に絵画、生け花、手芸、書道などの作品を展示しました。

音楽の部は、前半は張り詰めた空気の中、各学年が課題曲と自由曲で競い合いました。休憩を挟んだ後半は打って変わって和やかな雰囲気の中、吹奏楽部の演奏と全校合唱をお楽しみいただきました。全校合唱曲は、3年生が音楽家の haruka nakamura さんや画家で作詞家で師匠の牧野伊三夫さんと共同制作した「牛窓のうた」です。思春期の中学生の感性そのままに、オリーブ園から望む牛窓の鳥瞰図を連想させる曲です。3月20日の音楽の授業から制作に取りかかり、七夕のプレゼントとして本校に届けられました。国内外のどこにいても、中学時代を過ごした牛窓を思い出せる曲に仕上がっています。2学期から本格的に学年を越えた縦割り班で練習しました。開催日が近づくにつれ、実行委員の指導が熱を帯びていきました。多様な個性の集まりである学年・学校で、1つのものを手がけることは、素敵な経験であり、大きな財産です。しかも、その創作活動の結晶を、保護者の皆様が生でご堪能いただけたことは、感激の極みです。学年合唱と全校合唱で深まった縦横の絆が、今後の学校生活で生きることを願っています。

また、卒業式でも「牛窓のうた」を全校合唱し、咲陽祭の感動を思い出しながら3年生を送り出したいと考えています。制作から卒業までの軌跡を動画にまとめる予定ですので、ご期待ください。来年の咲陽祭でも縦割り班で練習し、次の学年にバトンをつないでいきたいと考えています。



スポーツの秋、文化の秋

9月16日(土)、17日(日)に備東総体、11月4日(土)、5日(日)、11日(土)に県大会が各地で開催され、熱戦が繰り広げられました。保護者の皆様には、送迎などでお世話になりました。単独校ではチーム編成ができない野球部が邑久中・長船中と合同チーム、同じくサッカー部が邑久中と合同チームを編成して出場しました。

各競技とも事前に熱中症対策を入念に打ち合わせて実施されました。例えば、野球では投手の球数制限、4回終了後のクーリングタイム、申告敬遠、ワールドゲーム、延長戦でのタイブレークなど、今春のWBCや今夏の高校野球を彷彿とさせる新ルールが導入され、選手に過度な負担がかからぬよう配慮がなされていました。加賀中との準決勝では、2A 山口虎大良さんが先発投手を務め、2A 内田心さんがライトスタンドに見事なホームランを放つ活躍ぶりでした。

他競技では、相撲で2A 夕川純一朗さんが夏の全中の勢いそのままに県大会を勝ち上がり、団体戦優勝の栄冠を手に入れました。おめでとうございます。その他、弁論や科学研究などでも、本校生徒が次のとおり活躍しています。



岡山県中学校秋季体育大会(相撲競技)団体戦優勝(操南相撲クラブ)、個人戦2位

2A 夕川純一朗さん

(陸上競技)出場 1A 山本 裕惺さん

(剣道競技)出場 1A 床 来海さん

備前東地区中学校秋季総合体育大会(野球競技)3位 牛窓中・邑久中・長船中

岡山県中学校弁論大会出場 支部最優秀賞 3A 奥山 果南さん「私の進化論」

和気・瀬戸内支部弁論大会 優良賞 3A 宮本 輝さん「性的少数者について考える」

和気・瀬戸内支部科学研究発表会 優秀賞 2A 石橋 空大さん「ゼラチンを一番溶かすものは何」

優秀賞 2A 松下 紗衣さん「氷の不思議」

市村アイデア賞(東京 科学技術館) 奨励賞 3A 木山 滉さん「知ら粘度スプーン」

努力団体賞 瀬戸内市立牛窓中学校

生徒会・専門委員会発足

9月25日(月)に、生徒会中央委員立候補者による立ち会い演説会をオンラインで開催しました。市から借り受けた記載台を使って信任投票を行った結果、全候補者が信任されました。後日、各学級でも専門委員を選出し、10月12日(木)に認証式を行いました。元気な挨拶や校歌を継承するとともに、各委員会の特色ある取組や校内放送にも期待しています。

会長	2年	大瀧 檀 さん	副会長	2年	山本 梨心さん
総務	2年男子	山本英偉斗さん	総務	2年女子	本田 幸 さん
総務	1年男子	池田 悠 さん	総務	1年女子	島田 ソノさん

1年生「牛窓歴史探訪」

10月22日(日)、きらびやかな衣装をまとった児童が対舞するかわいい唐子踊が、疫神社で奉納されました。また、船大工の技術の粋を集めた船形だんじりの勇壮な巡行もありました。秋祭りには、普段は各々お勤めされている町の人たちを結集させる魅力があります。生徒も顔にペイントを施し、楽しそうに巡行に加わっていました。祭りを支える大人たちから、その姿を見て育った子どもたちへ、伝統が受け継がれていく様を目撃しました。一旦緩急あれば結束する牛窓の底力を感じました。11月5日(日)には、朝鮮通信使の華やかな再現行列も行われました。鳴り物(チャルメラ、ドラ、太鼓)に誘われ、見物客が沿道に集まる様は、当時と変わらぬ気がしました。

秋祭りに先立ち、1年生は6月12日(月)に瀬戸内市教育委員会総務学務課参事 片岡学氏をお招きし、「すごい歴史の町 牛窓」と題してご講演いただきました。続編として10月3日(火)には、「牛窓の魅力発見」と題して、円墳(横穴式石室)、本蓮寺・御茶屋跡(朝鮮通信使の宿泊施設)、海遊文化館を訪れ、牛窓の文化観光資源を楽しみながら、地元の魅力を再発見していきました。現地研修で見聞したことは新聞にまとめ、11月末におかやま新聞コンクールに応募する予定です。



3年生「牛窓の未来を考える」

3年生は9月19日(火)、市の各担当職員の皆様をお招きし、次の4グループに分かれて、地域の課題について熱く語り合いました。市職員の皆様には、公務ご多用の折、若き市民の育成のためにご協力いただき感謝申し上げます。

- ・若者が暮らしやすい町について(企画振興課)
- ・高齢者が暮らしやすい町について(いきいき長寿課)
- ・産業について(産業振興課)
- ・観光について(文化観光課)

タブレット端末を用いた地域経済分析システム RESAS による検索、家を貸したい人・借りたい人の仲介、キャベツや白菜の栽培の変遷、見るだけでなく体験もある瀬戸内国際芸術祭(香川県)などの話題で盛り上がり、ライブ感がありました。おこがましいですが、市職員の皆様も膨大な情報の中から、中学生向けに情報を取捨選択し提供することで、行政サービスの練習になったようです。

今後は市職員との対話や現地研修で得た情報を整理し、浮き彫りになった課題に対する解決策をグループで話し合い、12月21日(木)に中学校と市役所をオンラインで結んで提言を行う予定です。

以上、本校では3年計画で、地域社会とのつながりの中で挑戦する場や機会を意図的・計画的に設定した課題解決型学習 PBL「歴史に学び、今を知り、未来を考える ふるさと未来創造学習 Homing」に取り組んでいます。



2年生「赤ちゃんふれあい体験」

2年生は10月17日(火)、18日(水)に赤ちゃんふれあい体験を開催しました。1日目に妊婦体験・育児体験(シミュレーション)と講演会「妊娠・出産・育児について」(助産院ミントハウス 東森二三子氏)を行い、2日目に実際に赤ちゃんに触れ合いました。本物の赤ちゃんを前にして、生徒はドキドキしながらも、癒やされ笑顔になっていました。

さらに同18日(水)は、全校で人権講演会「優しい心が一番大切だよ」(ジェントルハートプロジェクト理事 小森美登里氏)を開催しました。小森氏は、大切に育てた愛しい娘をいじめで亡くした苦しい思いを切々と語られました。「こんな私たちに子育てをさせてくれてありがとう」「そこに理由があったなら、いじめてもいいんですか」「苦しい思いを打ち明けられたら、(経過観察ではなく)相談に乗ってあげてください」穏やかな口調の中にも、同じ過ちを繰り返してはならないという強い意志を感じました。

一連の活動を通じて、みんな大切に育てられてきたこと、生きる力と価値があることを実感することで、自己肯定感が高まり、自他を大切にすることが育つことを願っています。

